

大阪体育学会 50 周年を振り返って

飯田 貴子

「大阪体育学会 50 周年記念祝賀会」は、記念大会の初日（3 月 21 日）の夕刻より関西大学千里山キャンパス凜風館にて開催されました。

祝賀会には、関西大学楠見春重学長ならびに日本体育学会副会長の中京大学北川薫学長をはじめ、多数の来賓や会員の方々、約 150 名が参加され盛大に行われました。

司会と進行は、志岐、徳原両先生のコンビにて進められ、祝賀会はまず、大阪体育学会後藤幸弘会長の挨拶にて始まりました。続いて、楠見先生、北川先生にご祝辞を頂きました。記念大会は、丁度、バンクーバーオリンピックの余熱さめやらぬ時期であったためか、それぞれの看板学生、男子フィギュア銅メダルの高橋大輔選手、女子フィギュア銀メダルの浅田真央選手の活躍に話が及びました。その後、学会に長年にわたり協賛頂いた企業 4 社と 1 大学に感謝状を、学会に多くの功績をおさめられた 9 名の先生に功労賞を会長より贈呈されました。

祝宴は、溝畑寛治大会会長による乾杯のご発声にて始まりました。美味しい料理に舌鼓を打ちながら、久しぶりの旧交を温め昔話に興じているテーブル、進行中の研究テーマを議論しているテーブル、大先輩の先生方に挨拶をしている若手会員などなど、いずれも和やかで楽しい雰囲気の中で祝賀会が進められました。

功労賞を受賞された前会長金子公有先生そして、元理事長中神勝先生は、大阪体育学会の歩みの一旦をスピーチして下さいました。日本体育学会の支部学会中、日本学術会議協力学術研究団体に所属しているのは本学会だけであるという歴史と誇りは、このような諸先生方によって紡がれ、そして受け継がれてきたのだと改めて知る貴重な機会を頂きました。

関西大学の学生さんによるアカペラやジャグリンショーのアトラクションも進行に彩をそえることができ、伊藤章大会実行委員長の挨拶にて祝賀会は成功裏に終了致しました。

実行委員会の発足より、祝賀会には実質 1 年をかけて準備してきました。担当者として至らぬところが多々ありましたが、参加者の皆さまからは「楽しかったよ」と声をかけて頂き、安堵しております。

最後になりましたが、先にあげました志岐、徳原先生その他、祝賀会部会の小田、河鱈、高本、常行、灘先生、そして当日活躍して下さいました学生の方々にもお礼を申し上げます。本当に有難うございました。